



平成24年度、教育委員会では、

「絆プラン～読み聞かせ・読書活動」で親子の絆づくり

「よりよいひとりだち」を支える土台の一つは「親子の絆」。それを育むてだてとしての読み聞かせ、親子読書。読書活動の充実を通して親子の確かな絆づくりを進めます。

★教育委員会は★

学校図書館司書9名による読み聞かせ活動や本の紹介、図書整備などで幼稚園、保育園、小中学校を支援していきます。(読育の推進)



○家庭には

乳幼児の保護者に子育て教室で、本の出会いや読み聞かせの働きかけをします。

○幼稚園・保育園では、

園児には読み聞かせをし、保護者には読み聞かせの方法を紹介します。

○各PTAには、

読み聞かせ・読書活動で親子の絆づくりの協力をお願いしていきます。

○小・中学校では、

本の紹介や読書の時間を設け、本に親しむ機会を増やし、本の好きな子を育てます。



○小・中学校では家庭での学力アップの応援に取り組みます。

(「学力アッププログラム」はこの下をご覧ください。)

「学力アッププログラム」で家庭を学びの場に

お子さんの成長は家庭から。すべての園、学校で勉強の時間やテレビの時間を決めるなど、家庭での生活習慣づくりをお願いしていきます。

小学校の学力アッププログラム（家庭での生活・学習）の例

自分で立てた計画をやりぬく5年生

自分で勉強する力

僕・私のがんばり宣言

お家の方の応えんせん言

ステップ1 生活のリズムを大切にしよう

☆早ね (時 分)

☆早起き (時 分)

ステップ2 勉強・読書する準備をしよう

☆勉強・読書時間 (時 分～ 時 分)

PTA（保護者）の役割

1 学力アッププログラムの応援

お問合わせ先 教育委員会 学校教育課 ☎0573-66-1111(内線 4230)

E-mail: gakkou-e@city.nakatsugawa.lg.jp

家庭を「学び」の場に

☆ 学力アッププログラム ☆

中津川市教育委員会

3年 自分で勉強する力 中津川市 学力アッププログラム

時間いっぱい集中できる3年生

ぼく・わたしのがんばりせんげん おうちのかたのおうえんせんげん

ステップ1 生活のリズムを大切にしよう

○早ね (時 分) ○早おき (時 分) ○朝ごはん
○朝のはいべん ○つづける仕事 () ○読み聞かせ・読書

ステップ2 勉強するじゅんびをしよう

○テレビを消そう (テレビを見る時間 分)
(ゲームをする時間 分)
○勉強する時間 (時 分 ~ 時 分)
○かばんから勉強道具を全部出そう

ステップ3 勉強のしかたを身につけよう

できるようになったら、学期ごとに ① ② ③ に 色をぬりましょう

自分からできること	家での勉強のしかた
1. 勉強のじゅんびをする (1) おたよりをわたす ① ② ③ (2) つくえの上は学習にひつようなものだけを 出す ① ② ③ 2. 勉強をする (3) 下じきやようぎを使って書く ① ② ③ (4) まず宿題をすませる ① ② ③ (5) 時間いっぱい勉強する [分] ① ② ③ (6) 読書をする ① ② ③	(1) 勉強を始めた時刻を書く ① ② ③ (2) 正しいしきいで 勉強する ① ② ③ (3) 大きな声で 正しく読む ① ② ③ (4) 漢字と計算は 毎日練習する ① ② ③ (5) かならず答え合わせをする ① ② ③ (6) まちがえた問題はやりなおす ① ② ③

お子さまの成長をご家庭とともに促していただけるよう、取り組んでいきます。

3つのステップを大事にします。

生活習慣づくり

学習習慣づくり

自分で学習する力を身につける

ご家庭には、次のことを提案しています。

《家庭を「学び」の場に！》

～自分で学ぶ力を育てるために～

基本は「生活環境」

- 早寝・・・夜9時には寝る
- 早起き・・・授業が始まる2時間前には起きる
- ※睡眠時間は9時間を確保
- 朝ご飯・・・1時間前から集中力アップ!
- 「おはよう」「おやすみ」「ありがとう」のある生活を
- 勉強中はテレビを消す
- ※子どもが勉強に集中できる
- ※家族の協力が大切!
- 親子のふれあいを大切に
- ・食事中もテレビのスイッチオフ!
- ・お手伝いをする
- ・「～は恥ずかしいよ」の一言を

遊びにルールを!

- テレビの時間
- ゲームの時間
- 我が家のルール

宿題+自分勉強を!

- まずは宿題
- ・親の見届けを
- 宿題が終わったら自分勉強
- ・自分で決めた勉強をしよう
- どんどん読書をしよう!
- ◎自分勉強ができたら、いっぱい、いっぱい褒めてあげて!

保護者からの応援宣言

お母さんも毎日お君と一緒に本を読むので一年間続けよう。規則正しい生活、「気をつけて行つてらっしゃい。」の見送り。手をだすしぎないように、自分からやりだしたことをほめてほめてほめてほめてほめます。きめられたことができたら、ぎゅつとして、ほめるよ。

見えてきた変化 2月→10月

Q 学校がある日に、家でどれぐらい勉強しますか。

	～60分	50分	40分	30分	20分	10分	10分～0分	0分
H23年2月	20%	28%	22%	16%	6%	7%	1%	0%
H23年6月	40%	29%	14%	9%	5%	1%	1%	1%
H23年10月	30%	30%	19%	13%	4%	3%	1%	1%

4年生から5年生に進級した児童の学習時間です。学習習慣の定着が見られます。

学校での学力アップ

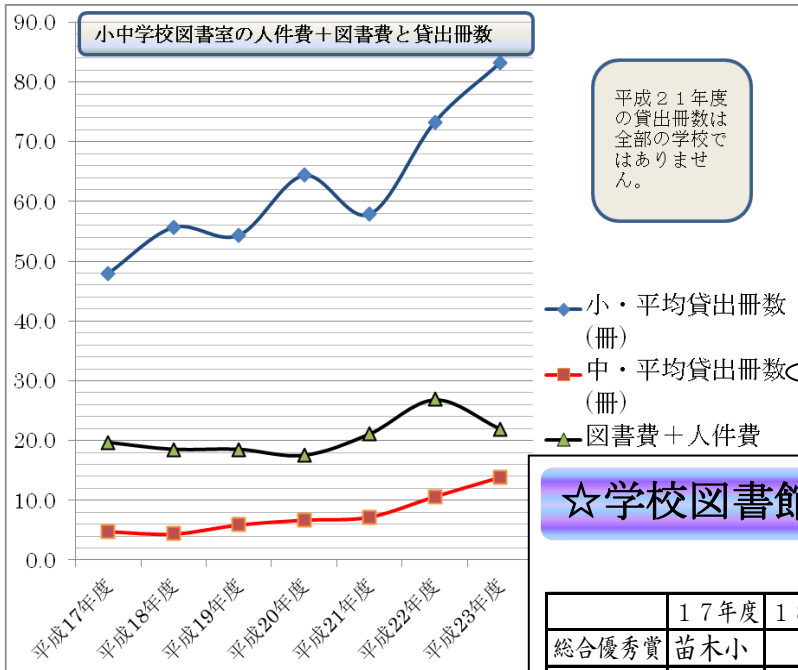
学び方を身につけ、自らが学んでいける力の育成をめざしています。少人数指導など、個の学習状況に応じたきめ細かな指導を進めています。授業を工夫し、学習内容の定着をめざしています。

量も質も充実、向上！

～園、学校での読書活動～

☆学校図書室の平均貸出冊数が増加

中津川市教育委員会



一人あたりの年間平均貸出冊数

	H17	H22	H23	増加
幼	—	44.1	42.6	
小	48.0	73.3	83.2	1.73倍
中	4.8	10.6	13.8	2.90倍

☆学校図書館教育優秀賞を連続受賞！

主催…東濃地区教育推進協議会

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
総合優秀賞	苗木小			田瀬小	坂下中	蛭川中	西小
優秀賞			田瀬小	坂下中	西小	西小	高山小
奨励賞	坂下中	阿木小	東小	東小	福岡小		
		田瀬小	坂下中	西小			
		坂下中		蛭川中			
努力賞	西小	西小	蛭川中		高山小		第二中
	阿木小						
	田瀬小						

こんな点を

評価された結果です。

- ・本が選びやすい図書室である
- ・本を好きになる工夫がある
- ・授業に役立つ図書室である
- ・朝読書、読み聞かせの取組が充実している。
- ・全校での取組である。

生徒の声～朝読書について

朝の読書は私に沢山の本と出会わせてくれた大切な時間です。読んでみたいと思った本、時間を忘れて読んだ学級文庫、たくさんの本を読みました。特に私は「ある人物について語られた本」とか「自伝本」とかが好きでした。そういう本を読むと、本の中でその人の人生がわかって、その人の気持ちや心がわかって、その人の心に近づけた気がしました。これからのたくさんの本を読んでいきたいです。

(中3女子)

幼稚園、保育園では…

- ・保護者の97%が読み聞かせ
- ・市川あつきさんの読み聞かせ教室等で、読書活動充実の取組。

学校図書館司書の声

「倉庫のようだ」といわれた図書館が、今は多くの新刊が並び、多くの子どもたちの笑顔が溢れる自慢の図書館になりました。ある時、子どもたちが「図書館に入った途端、夢の国にいるように感じました」「楽しい気持ちで本が選べます」と感想を話してくれました。こういう声が私たちの大きな励みです。(学校図書館司書)

